

News Release

**BSC 工法（藻類で土砂流出を防ぐ特許技術）が
NETIS「令和 7 年度推奨技術」に選定**

ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）傘下の日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金井晴彦、以下「日本工営」）が開発した、藻類を活用して土壌表面の侵食を防止し、草木の植生遷移を促す技術（以下「BSC 工法」）が、国土交通省が提供する新技術情報提供システム（NETIS）において「令和 7 年度推奨技術」に選定されました。



新技術情報提供システム（NETIS：New Technology Information System）は、国土交通省が新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有および提供を目的として整備したデータベースシステムです。登録された新技術の中から、外部有識者の審査を経て、公共工事等に関する技術の水準を一層高めると評価された画期的な新技術が、推奨技術として選定されます。推奨技術に選定されることで、公共工事における施工者の総合評価方式や工事成績評定の加点、新技術情報提供システム（NETIS）の掲載期間の延長などのインセンティブが付与されます。

令和 7 年度推奨技術に選定された BSC 工法は、豪雨災害によって崩落した斜面や浸食に対して、生態系の保全に配慮しつつ、通常数年かかる初期の植生遷移を概ね 2 週間から 1 か月という短期間で形成させる技術として開発したものであり、日本工営と国立研究開発法人土木研究所が共同で 2009 年に特許を取得しました。

BSC（バイオロジカル・ソイル・クラスト／Biological Soil Crust）は、糸状菌類、土壌藻類、地衣類および苔などが地表面の土粒子や土塊を絡めて形成するシート状の土壌微生物のコロニーで、植生遷移の初期に見られる自然現象です。BSC が形成されることで土壌侵食が防止され、植生遷移が進んでいくことが知られています。BSC 工法はこの自然現象の特性に着目し、土壌藻類資材（BSC-1）を散布して地表面に BSC を形成し、植生遷移を促進させる技術です。

土壌藻類を土木資材として活用する例はこれまでなく、地域生態系に配慮しながら様々な場所に適用が可能であり、容易かつ安価に実施できる汎用性などが高く評価され、令和 7 年度推奨技術に選定されました。

出典：国土交通省 報道発表資料 令和7年度推奨技術・準推奨技術として計23技術を選定
https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_001196.html

■NETIS 掲載概要

NETIS 登録番号： OK-170002-VR

技術名称： 侵食防止及び植生の自然侵入促進をはかる土壌藻類資材

技術概要： 本技術は、崩壊斜面、工事による荒れ地やのり面に吹付けるための土壌藻類資材である。従来は人工素材で対応していた。本資材の活用により、自然状態では時間を要する裸地面等への土壌藻類の被覆を早期に形成させて土壌侵食を防止し、植生の自然侵入を促進する。

NETIS ウェブサイト <https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=OK-170002%20>
での BSC 工法詳細
ページ：

■施工例



▲ 施工前（秋田県の林道工事）



▲ BSC吹付施工直後



▲ 侵入した自生種の植物・コケ等が生育

日本工営は、今後も総合技術コンサルタントとしての強みを活かし、社会が抱える課題の解決に貢献する技術開発に取り組んでまいります。

—本件に関するお問い合わせ先—

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室
TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ：<https://www.id-and-e-hd.co.jp/>